

令和7年度 IR 推進センター 事業実施報告

1) 概要

IR 推進センター (Institutional Research Center) は、大学の教育研究に関する目標・事業計画の進捗状況の評価に必要なデータ及び分析結果の提供を行い、全学的な教育研究活動における適切な PDCA の推進を支援することを目的に、令和2年4月に設置されました。学内の各部署に蓄積されている入学前～卒後に至る多様なデータを統合・分析し、学生募集、教育研究活動、卒後支援に係る効果的なエンロールメント・マネジメント (入試～卒後までを一貫してサポートする総合的な学生支援策) に関する情報を管理し、各学部等からの分析依頼に対して結果をフィードバックするとともに、収集したデータに基づき、各学部等に対して改善施策の提案を行うのを主な業務としています。

2) 組織

- ・センター長 (副学長 (教育研究担当)) 1名
- ・副センター長 (准教授) 1名
- ・担当教員 (助教) 1名
- ・事務担当 2名
- ・補助職員 1名

3) スタッフ

3-1. 現職 (令和7年6月現在)

氏名	職名
堀江正知	副学長・センター長・産業生態科学研究所 産業保健管理学研究室 教授
井上彰臣	副センター長・准教授 (専任)
井上由貴子	助教 (専任)
羽生真由美	事務担当・大学事務部 次長 (併任) 大学管理課長
濱田 薫	事務担当・大学事務部 大学管理課長代理
上田美佳	補助職員 (専任)

3-2. 教員の変遷

- ・センター長 上田陽一 (令和2年4月～令和5年3月)
堀江正知 (令和5年4月～令和8年3月)
- ・副センター長 井上彰臣 (令和3年1月～)
- ・担当教員 井上由貴子 (令和3年1月～)

4) 令和7年度の活動内容

- ・ IR 推進センター運営会議の開催（全4回）
- ・ 年次報告（医学部 医学科、産業保健学部 看護学科、産業保健学部 産業衛生科学科）の作成
- ・ 大規模研究費獲得プロジェクトワーキングチームへの参画
- ・ 共用試験 CBT の実施協力（サイトマネージャー担当）
- ・ 第57回日本医学教育学会大会での活動報告
- ・ 医学部・産業保健学部「ワンヘルス（One Health）に関するアンケート」の実施協力
- ・ 医学部卒業生 初期臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」（卒後1年目の初期臨床研修医の指導医による客観評価）の実施
- ・ 医学部1～6年次生「コンピテンス到達度自己評価アンケート」の実施
- ・ 医学部4年次生・6年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施
- ・ 大学院修了見込み生「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」および「カリキュラム評価アンケート」の実施

<IR 推進センター運営会議の議事概要>

回数	開催日	主な議題
第1回	令和7年5月7日	IR 推進センター運営会議 構成員名簿（更新案） 令和7年度 事業実施計画（修正案） 令和6年度 予算実績報告（案） 令和6年度 事業実施報告（案） 令和5年度 年次報告（医学部、看護学科、産業衛生科学科） 第4次中期目標・中期計画の進捗状況（令和4～6年度）
第2回	令和7年7月9日	医学部卒業生 初期臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」の実施方法
第3回	令和7年10月7日	医学部1～6年次生「コンピテンス到達度自己評価アンケート」の実施方法 医学部4年次生・6年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施方法
第4回	令和8年2月13日	令和8年度 事業実施計画・予算実施計画（案） 大学院修了見込み生「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」「カリキュラム評価アンケート」の実施方法

5) 令和7年度の活動実績

5-1. 分析支援実績（申請番号および分析支援内容：カッコ内は対象学部）

- R7-001 基礎総合試験Ⅰ～Ⅲの得点と共用試験 CBT の IRT 標準スコアとの相関（医）
- R7-002 JACME「医行為に関するアンケート調査」結果の可視化（全国と本学の回答分布の比較）（医）
- R7-003 共用試験 CBT の IRT 標準スコア 396～425 における留年・医師国家試験不合格予測の検討（医）
- R7-004 主要出身高校別の4年次修了時点までの進級状況と累積 GPA の推移（医）
- R7-005 コロナ禍前後における学生のメンタルヘルスの状況・支援状況の推移（医）
- R7-006 6年次生「総合試験Ⅰ・Ⅱ」の除外問題の取扱いと合格基準に関する検討（医）
- R7-007 令和7年度6年次生欠点者における過去の成績推移（医）
- R7-008 コンピテンシー到達度評価とカリキュラム評価の集計（令和7年度分）（産保）
- R7-009 募集人員が少ない選抜方式（総合型選抜、一般選抜 B 方式・C 方式）で入学した学生の入学後の成績状況（医）

5-2. 企画支援実績

- ① 医学部「コンピテンシー到達度自己評価アンケート」の再設計支援（医学教育改革推進センターとの連携）
- ② 産業医需要供給実態調査事業に係る支援（大学事務部キャリア支援課との連携）

6) 教育実績（専任教員）

< 卒前教育 >

医学部：心理学

産業保健学部：メンタルヘルス概論

< 卒後教育 >

医学部：産業医学総合実習（4. メンタルヘルス）

産業医学基本講座（本学開催）（健康管理実習）

産業医学基本講座（東京開催）（メンタルヘルス対策実習）

大学院：産業衛生学研究概論

7) 研究業績（専任教員）

- ・ Soeishi T, Nakata A, Nagata T, Akutsu S, Tondokoro T, Inoue Y, Katsumura F, Kikunaga K. Predicting depressive symptoms and psychological distress by circulating inflammatory mediators: a 16-month prospective study in Japanese white-collar employees. J Occup Environ Med 2025; 67(4): 235–244.

- Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Dollard MF, Tsutsumi A. Reliability and validity of the Japanese version of the four-item psychosocial safety climate scale (PSC-4J). *Am J Ind Med* 2025; 68(5): 439–449.
- Furusawa R, Mafune K, Hino A, Inoue A, Eguchi H. Associations between cognitive function on return to work, readiness to return to work and work continuation after return to work: a longitudinal study of workers with major depressive disorder. *J UOEH* 2025; 47(2): 55–67.
- 井上彰臣. 心理社会的な安全風土と労働者の心の健康. *Precision Medicine* 2025; 8(6): 61 (493)–64 (496).
- 井上彰臣. 職の不安定性と労働者のメンタルヘルス：仕事の資源の緩衝効果. *地域ケアリング* 2025; 27(7): 89–92.
- Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Tsutsumi A. Moderating effect of psychosocial safety climate on the association of job demands and job resources with psychological distress among Japanese employees: a cross-sectional study. *Saf Health Work* 2025; 16(2): 213–219.
- Kanamori S, Imamura K, Inagawa Y, Yamauchi T, Ikeda H, Okuyama T, Muto G, Kato R, Iida M, Asaoka H, Inoue A, Watanabe K, Tsuno K, Sasaki N, Kobayashi Y, Sakuraya A, Komase Y, Otsuka Y, Iwanaga M, Inoue R, Kuribayashi K, Hino A, Shimazu A, Tsutsumi A, Kawakami N, Tani N, Eguchi H, Kojimahara N, Ebara T. Physical activity interventions delivered through digital health technology for improving workers' mental health symptoms: a systematic review and meta-analysis. *J Occup Health* 2025; 67(1): uiaf035.
- Mori T, Odagami K, Nagata T, Inoue A, Mori K. Validation of the Japanese version of the Survey of Perceived Supervisor Support. *J UOEH* 2025; 47(3): 125–135.
- 井上嶺子, 関根康寛, 渡辺和広, 小田切優子, 島津明人, 川上憲人, 井上彰臣, 堤明純. 職業性ストレス簡易調査票を用いた集団分析とその活用の工夫：システムティックレビューによる組み入れ論文から抽出した 30 事例. *産業衛生学雑誌* 2026; 68(1): 1–15.